

染色に使用後の紅花を再利用 米沢発 装飾品発売へ

地元の工業高、企業、作家タッグ



粉末にした紅花や啓翁桜などを使った装飾品—米沢市で

紅花染めに使用後の紅花を再利用した装飾品が来月下旬にも発売される。県立米沢工業

高校専攻科と米沢市の「合同会社Crop(ク



発売予定の装飾品を説明する戸屋香吉子さん(左)と高橋りなさん—米沢市で

ropp)が考案した粉末化を活用。同市の工芸作家、戸屋香吉子さん(48)が、紫外線(UV)で固まる樹脂、UVレジンに粉末を混ぜ込み、ブローチ、イヤリング、かんざし、髪留めなどを手作りした。紅花だけでなく、啓翁桜、四季折々の花など地元の素材を使

い、ブランド名「Forrb(フォーブ)」で商品を展開する予定。商品は、粉の大きさが異なる発色を生かしたり、紅花の花びらを使ったりするなど、すべて一点物。戸屋さんは「自分自身も楽しみながら紅花本来の色を生かせるよう工夫しました」とPRする。さらに、地場産品を素材に使う米沢らしさという付加価値を前面に出そうと、クroppが、紅花の粉末以外に啓翁桜や米ぬかなど地元の農産物を素材に使うことを提案。戸屋さんが素材を生かした作品に仕上げた。販売はクroppが担当し、インターネットにPRサイトを立ち上げ、ネット通販に力を入れる。クropp代表の高橋りなさん(32)は「材料、作家、販売会社もすべて米沢産。米沢の魅力を全国に発信したい」と意気込む。一部は受注生産で、問い合わせは同社へ電話(0238・33・0293)かメール(op@yanov.jp)で。【横田信行】